

NIPT(非侵襲性出生前遺伝学的検査)について

出生前検査は、児の健康の向上や適切な養育環境を提供することを目的に、妊娠中に胎児に何らかの疾患に罹患していると思われる場合に、その正確な病態を知る目的で行われる検査です。

検査対象となる妊婦

次の1~5のいずれかに該当する妊婦さんです。

1. 胎児超音検査で、胎児が染色体数的異常を有する可能性が示唆された妊婦
2. 母体血清マーカー検査で、胎児が染色体数的異常を有する可能性が示唆された妊婦
3. 染色体数的異常を有する児を妊娠した既往のある妊婦
4. 高年齢の妊婦(分娩予定日において35歳以上)
5. 両親のいずれかが均衡型ロバートソン転座を有していて、胎児が13トリソミーまたは21トリソミーとなる可能性が示唆される妊婦

NIPTの対象となる染色体疾患

13、18、21番染色体のトリソミーを調べます。

性別は分かりません。

先天性疾患の全てが分かるわけではありません。

NIPT 検査概要

1. NIPT 検査は非確定的検査です。偽陽性や偽陰性の可能性があります。
2. 自費の診療になります。血液が検査会社に送られた以降の費用の返金はできません。
3. 検査を受ける前、検査結果の説明時、計2回の遺伝科カウンセリングを必ずご夫婦で受けていただきます。妊婦さんだけの受診は応じません。
4. 採血を行い、結果が出るまでに約2週間かかります。
5. 検査結果は陰性/陽性/判定保留のいずれかです。
6. 陽性の場合は、必ず確定的検査(羊水検査)を受けていただきます。
7. 判定保留の場合は、再検査か確定的検査(羊水検査)を受けていただきます。
8. 再検査や羊水検査を行う際の検査・入院費用の負担はありません。(ただし、入院中にパジャマを借りる際はパジャマ代の支払いが必要です。)

検査を受ける前に知っていただきたいこと

現在日本の母体保護法では、胎児の異常のみを理由に中絶は認められていません。

NIPT 検査の流れ

外来担当医が「遺伝相談(検査前)」(月曜日午後)の予約を取ります。
予約が取れた方は、NIPT 検査のパンフレットを受診までに必ずご夫婦でお読みください。



受診日 (月曜日午後)

予約時間の5分前には「32 番外来受付」にお越しください。
32 番外来もしくは健診センターにて遺伝カウンセリングを行います。
※ 夫婦そろっての受診が必要です。
検査日と結果説明日の予約をします。検査日が妊娠10週～15週になるように調整します。
診察料+遺伝カウンセリング料 : 6,000 円(税抜)、6,600 円(税込み)



検査日 (月曜日午前) ※月曜日が休日の場合は他の曜日に変更することがあります。

32 番外来で同意書を確認し、超音波で胎児の生存を確認します。
検査室で採血を行います。
※ 検査日は妊婦さん一人の受診でかまいません。
NIPT 検査手技料 : 170,000 円(税抜)、187,000 円(税込み)



説明日 (検査日から2週間後の月曜日午後)

予約時間の5分前には「32 番外来受付」にお越しください。
32 番外来もしくは健診センターにて検査説明・遺伝カウンセリングを行います。
※ 夫婦そろっての受診が必要です。
検査結果が「陰性」の場合は終了となります。
「陽性」「判定保留」の場合は、追加検査の日程相談をします。
診察料+遺伝カウンセリング料 : 6,000 円(税抜)、6,600 円(税込み)

* 料金(税込み)は今後の税率で変わります